JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD

日本歯科色彩学会

ニュースレター

NO. 64

日本歯科色彩学会事務局
日本歯科大学 新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座 内
〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8　　発行日／令和1年9月20日
発行人／新海航一　　TEL／090-211-8171　　MAIL／jacd@ngt.ndu.ac.jp

日本歯科色彩学会
http://www.jacd-dc.jp

JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD JACD

会員のメールアドレスを学会事務局宛へお知らせ下さい

日本歯科色彩学会会長に就任して

日本歯科色彩学会会長　新海航一
（日本歯科大学新潟生命歯学部　歯科保存学第2講座）

新海航一　会長

日本歯科色彩学会は1993年11月に研究会として発足し、設立総会ならびに記念学術大会が昭和大学で開催されました。第1回から第3回までは研究会として、第4回からは学会として総会・学術大会が開催されて参りました。今年7月に阪大会長のもと川越で第27回総会・学術大会が開催されました。本学会は設立以来、早26年間が経過したわけであります。その間、代々6名の会長が本学会を牽引されて参りました。そしてこの度、堀田正人前会長を引継ぎ、本年4月から会長を仰せつかりました。微力ではございますが、本学会の発展に少しでも貢献して参りたいと思います。

今さらいうことではありませんが、本学会の使命は歯科に関連した「色彩」について深く研究し、その成果を歯科臨床に反映させることであると思っています。研究内容が「色彩」に特化されるのは、かなり限定された領域のように思われがちですが、本学会に20年近く籍を置きますと、「色彩学」の奥深さを認識させられます。先日、日本色彩学会第50回全国大会に参加して参りました。口頭発表では熱気のあるディスカッションが繰り広げられ、「色彩学」はいろいろな領域で盛んに研究されていることがわかりました。

歯科における「色彩」の重要性も多くの歯科医療従事者によって認識されていると思います。審美修復を実践する上で、補綴物や修復物の「形態」、「色調」および「機能」が重要なポイントであります。機能的な「形態」を有する補綴物や修復物の審美性を最終的に決定付けるのは、もちろん「色調」です。しかし、この最終的な色彩調整は、非常に難しいことを誰もが認識していると思います。臨床的な経験や勘だけでは、色調の合った審美修復を上手く実践することはできません。やはりそこには色彩学が必要だと思います。この辺りを詳しく勉強できるのは、本学会のみであります。にもかかわらず、残念ながら本学会の会員数は、約150名まで減少してしまいました。会長として私の第一使命は、歯科における色彩学の重要性をアピールして本学会の認知度を高め、さらに色彩関連学会との連係を深めながら会

員数の増加を図ることだと考えております。

日本歯科医学会は、専門分科会や認定分科会として多くの所属学会を抱えています。本学会は日本歯科医学会に所属しない小さな学会ではありますが、「歯科の色彩」に並々ならぬ興味と情熱をもたれる会員の方々が熱心に本学会を支えている現状をしっかりと認識しています。小さい故にまとまりがあり、とても居心地のよいフランクな学会であると思います。会員にとって魅力があり参加して楽しい学会作りを目指し、徐々に仲間を増やしていく所存です。今後とも会員の皆様からご支援、ご鞭撻を賜りたく存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

第 27 回日本歯科色彩学会総会・学術大会を終えて

大会長　阪　秀樹
（埼玉歯科技工士専門学校）

大会前日の 7 月 26 日に発生した台風 6 号の影響に心配しながらの開催となりました第 27 回日本歯科色彩学会総会・学術大会ですが、天候や交通の乱れもなく、無事に全プログラムを終了することができました。ご参加いただきました会員の皆様、賛助会員企業様ならびに準備・運営に携わってくれた本校スタッフの皆様に心から感謝申し上げます。

埼玉歯科技工士専門学校として日本歯科色彩学会の大会運営は、第 10 回大会（2002 年）、第 19 回大会（2011 年）に引き続き 3 回目となります。前 2 大会は、さいたま市の大宮ソニックシティで開催しましたが、今回は違った埼玉の魅力をご紹介したいと考え、小江戸の情緒ある川越の近代的な施設「ウェスタ川越」にて開催しました。

本大会は前回（第 26 回大会：平山聡司大会長）を踏襲しまして、総会・学術大会を日曜日に行い、併せて講習会にも引き続き多くの方々が参加できるように同一日に実施いたしました。

大会テーマを「色が創る、安心と満足」として、歯科治療における審美的な満足から様々な色覚特性を持つ社会での安心・安全まで色彩学的に探究できるような講演や講習会を企画しました。

さらに前回まで別途有料にて実施されていた講習会を大会参加費の中にすべて含めて実施いたしました。折角行われる有意義な講習会ですので大会参加者には均しく受講していただきたいとの願いから、大会参加費の見直しもはかりました。この点につきまして賛否両論あろうかと存じますが、ご参加いただきました会員の皆様にはご意見、ご評価をいただき、今後の大会運営に繋げていきたいと考えております。

本大会の参加者は、会員 34 名、学生 12 名、非会員 3 名の合計 49 名を数え、参加された皆様の旺盛な研究心のおかげ様で活発に学術交流を行う場を提供できたと思っています。

2 日間を振り返ってみますと、大会 1 日目（7 月 27 日、土曜日）は 15 時から常任理事会が開催され、引き続き 16 時 40 分から理事・評議員会が開催されました。その後、会場を移して会員懇親会を行いました。会員懇親会には、特別講演の講師である白石先生、賛助会員企業 1 社、さらには名誉会員である下河辺先生もご参加いただき、総勢 26 名のご参加を頂きました。参加者は、コース料理を味わいながら、日常の臨床や研究の話題や趣味の話などに花を咲かせながら親睦を深められました。

大会 2 日目（7 月 28 日、日曜日）は、9 時 20 分から総会が行われ、続いて、学会賞と奨励賞の表彰が行われました。

10 時から会員によるポスター発表を行いました。発表演題は 5 演題と少なかったものの「色彩」という切り口のもと、保存・補綴歯科学分野における材料の色調に関する研究から、ホワイトニングとブラ

ポスター発表の様子

特別講演の白石大典先生

ッシングの関連や色彩学教育の研究まで、幅広いテーマの研究成果が発表されました。いずれの発表も参加者の高い関心を集め、各ポスター前では活発な討議や情報交換が行われていました。

11 時からの特別講演では、近年、めざましく普及しているモノリシックジルコニアについて、昨年、「モノリシックジルコニアのいま」（医歯薬出版）を上梓されました白石大典先生（有限会社　湘南セラミック）に登壇いただき、「モノリシックジルコニアの活用と色調再現」と題した講演をいただきました。

はじめに IPS e.max をはじめとする二ケイ酸リチウムによるガラスセラミックスやレイヤリング法と比較したモノリシックジルコニアの優位性を紹介され、モノリシックジルコニアにおける 2 つの彩色方法（ステイン材を使用したグレーズ法と浸透カラーリング法）について、それぞれの利点・欠点や適応部位の違いを症例を交えながら解説いただきました。

また、研磨の手順から接着性向上のためのプラズマ処理まで、モノリシックジルコニアの臨床応用のポイントを供覧していただきました。

午後は、昨年までのプログラムと仕組みが変わり、大会とは別に行われていた講習会を大会の中に組み入れまして、従来の「講習会必須コース」は「講習会 1」、「講習会応用コース」は「講習会 2」として実施しました。

13 時 30 分からの講習会 1 では、「モノの見えに影響を与える照明と現在の主流光源 LED の基礎」をテーマに岩井 彌先生（パナソニック株式会社ライフソリューションズ社）よりご講演いただきました。

近年、急速に普及している LED 光源について、はじめにその発光原理を紹介された上で、「LED は短波長光が多いため目に悪い」という俗説について検証され、同じ光束で蛍光ランプ光と比較したデータをもとに、LED は実際には蛍光ランプ光よりも網膜障害性が低いことを示されました。

また、多数の機材を持ち込まれて、白熱電球、蛍光ランプ、LED 光源の 3 種の光源を使用したデモを行い、色温度などの条件を変えることで観察体の見え方がどのように変化するかを実演されました。

15 時からの講習会 2 では、「安全につながる色使い－多様な色覚特性の理解とその対応－」をテーマに名取和幸先生（一般財団法人日本色彩研究所）よりご講演いただきました。

遺伝などによる色覚障害をもつ人や、加齢により色覚特性が変化した高齢者について、どのような色が区別しづらいのかを紹介され、施設の案内板や地図上の色分け表示など、実際の「問題事例」を示されながら、何が問題なのか、どうすれば改善できるのかを解説されました。

また、多様な色覚特性への配慮が必要な事例として医療現場における例も紹介され、適切な色使いに改めることで安全性を高めることができると説明されました。

講習会１の岩井 彌先生

本大会は、前回を参考に総会・学術大会と講習会を 1 日でまとめて行いましたが、特に講習会費用を大会参加費の中にすべて含めたため、大会に参加された方々には講習会まで受講していただき、色彩学漬けの一日を過ごしていただけたことと思います。

講習会２の名取和幸先生

埼玉県川越市という都心から離れた地での大会でご不便をおかけしたことと推察しますが、本大会で得られた知識や技術が参加された皆様の今後の御研究や臨床に役立てて頂けることを願ってやみません。

学会事務局よりお知らせ

幹事 鈴木雅也
（日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座）

本年 4 月より、学会長交代に伴い事務局が日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第２講座に移転いたしました。微力ではありますが学会の発展に力を尽くしてまいる所存ですので、今後とも会員皆様のご支援、ご指導のほどよろしくお願いいたします。なにぶん会長と私の 2 人での運営のため、ご迷惑をおかけすることも多々あろうかと存じますが、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

住所やメールアドレスの変更、入会・退会のお問い合わせは、メールアドレス（jacd@ngt.ndu.ac.jp）にご連絡ください。電話で対応できるスタッフが少なく、できるだけメールを使用していただけますと幸いです。

役員名簿（敬称略、50 音順）

（2019 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）

会　長（1）

新海航一

副会長（3）

平山聡司、中澤　章、永井茂之

常任理事（8）

市村　葉、岩崎嘉代、金子　潤、木暮ミカ、齊藤　誠、高橋英和、中山友克、堀田正人

監　事（2）

阪　秀樹、大金　誠

理　事（17）

石川明子、大西孝宣、小澤有美、久保茂正、澤田智史、澤田智慈、末瀬一彦、高橋洋子、高宮紳一郎、橋口英生、三好博文、村井宏隆、山鹿洋一、山口秀紀、山崎信夫、横瀬敏志、吉田周平

評議員（13）

天谷哲也、小川恵治、佐藤郁夫、関根哲子、中浦清人、二階堂　徹、野島　洋、東　竜太郎、三次義和、吉野　諭、吉村浩一、日下部修介、村瀬由紀

幹　事（1）

鈴木雅也

名誉会長（2）

片山　直、久光　久

名誉会員（14）

天笠光雄、天野義和、加藤喜郎、桑田正博、高　承志、神津　瑛、河野　篤、腰原　好、下河辺宏功、東光照夫、花田晃治、松尾　通、宮崎　隆、元呑昭夫

2019・2020 年度 各種委員会委員名簿（敬称略）

（2019 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）

部門	統轄者	委員会	委員長	委員				委員数
総　務	平山聡司	表　彰	平山聡司	金子　潤	新海航一	中澤　章	永井茂之	5
		規則（会則）検討	新海航一					1
		倫理・利益相反	高橋英和	堀田正人	市村　葉			3
学　術	中澤　章	講習会	平山聡司	木暮ミカ	石川明子	二階堂 徹		4
		見学会	中澤　章	齊藤　誠	高橋英和	岩崎嘉代	三好博文	5
渉　外	永井茂之	国　際	永井茂之	新海航一				2
		国　内	市村　葉	岩崎嘉代	大西孝宣			3
編　集	金子　潤	機関誌	堀田正人	金子　潤	新海航一	平山聡司	市村　葉	5
		ニュースレター	金子　潤	小澤有美	中山友克			3
広　報	木暮ミカ	ホームページ	木暮ミカ	末瀬一彦	小澤有美	関根哲子		4
資格承認	中山友克	認定士	中山友克	山口秀紀	澤田智史			3
財　務	新海航一							
監　事	阪　秀樹							
	大金　誠							
幹　事	鈴木雅也							

【編集後記】

令和最初のニュースレターNo.64 をお届けします。学会長が堀田正人前会長から新海航一会長に引き継がれ、学会事務局も日本歯科大学新潟生命歯学部に移りました。朝日大学歯学部の堀田前会長と学会事務局を担っていただいた先生方に心より感謝申し上げます。また、第 27 回総会・学術大会が 7 月 27、28 日に阪秀樹大会長のもと、埼玉県川越市で開催されました。本学会の令和の船出にふさわしい盛況な大会であったと思います。埼玉歯科技工士専門学校の学術大会スタッフの皆様、素敵な大会をありがとうございました。

日本歯科色彩学会は会員数が 160 名ほどの小さな学会ですが、逆に会員一人ひとりの顔が見えるアットホームな学会でもあります。年に一回の総会・学術大会は、そんな会員の皆様が帰ってくるホッとできる場となるよう心がけなければなりません。2020 年の第 28 回大会は 6 月 20、21 日に千葉県内で開催を予定しております。皆様の“お帰り”を心よりお待ちしております。

（金子　潤）

日本歯科色彩学会ニュースレター編集委員会　　金子　潤、中山友克、小澤有美

2018 年度日本歯科色彩学会決算報告

（2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日）

	項 目		2018年度 予 算	2018年度 決 算	増 減	執行率	備 考
収入	会費収入		1,330,000	1,295,000	−35,000	97.4%	
		1, 入会金	20,000	50,000	30,000	250.0%	5,000×10名
		2, 本年度会費	960,000	885,000	−75,000	92.2%	10,000×88名 5,000×1名（会員数158名,準会員1名,名誉会員13名,名誉会長1名,納入率56.0%）
		3, 過年度会費	170,000	210,000	40,000	123.5%	10,000×10名、20,000×4名、30,000×1名
		4, 賛助会費	180,000	150,000	−30,000	83.3%	30,000×5社
	事業収入		520,000	306,452	−213,548	58.9%	
		1, 論文掲載料	200,000	201852	1,852	100.9%	歯科の色彩 第24巻1号 1件
		2, 広告掲載料	70000	75,600	5,600	108.0%	デンタルプロ(株)
		3, 講習・見学会等	250,000	29,000	−221,000	11.6%	見学会参加費(29名)
	雑収入		31,000	36,028	5,028	116.2%	
		1, 著作・印税等	30,000	34,948	4,948	116.5%	科学技術振興機構864 学術著作権協会33,220 NPO 医学中央雑誌864
		2, 雑入	1,000	1,080	80	108.0%	
	当期収入合計		1,881,000	1,637,480	−243,520	87.1%	
	前期繰越金		2,364,139	2,364,139	0	100.0%	
	収入合計		4,245,139	4,001,619	−243,520	94.3%	

	項目		2018年度 予 算	2018年度 決 算	増 減	執行率	備 考
支出	事業費		1,611,000	1,748,929	137,929	108.6%	
		1, 学術大会運営費	500,000	500,000	0	100.0%	第26回大会(日本大学松戸)への補助金500,000
		2, 学会誌	700,000	771,579	71,579	110.2%	歯科の色彩 第24巻1号
		3, ニュースレター費	40,000	39,096	−904	97.7%	ニュースレター62号.63号
		4, 調査研究費	1,000	0	−1,000	0.0%	
		5, ホームページ維持費	170,000	170,864	864	100.5%	年間サーバー管理・ドメイン登録・更新料
		6, 講習・見学会費	200,000	267,390	67,390	133.7%	第26回大会講師講演料2名100,000 見学会ポスター55,728 見学会謝礼111,662
	管理費		635,000	672,526	37,526	105.9%	
		1, 会議費	80,000	61,320	−18,680	76.7%	常任理事会会議室料57,931 飲み物・会合費3,389
		2, 交通費	320,000	246,200	−73,800	76.9%	常任理事会等
		3, 渉外費	90,000	99,464	9,464	110.5%	お花代16,200　日本歯科系学会協議会50,864 新聞クイント名刺広告16,200
		4, 通信連絡費	60,000	182,417	122,417	304.0%	雑誌,書類郵送
		5, 事務委託費	80,000	80,000	0	100.0%	事務局諸経費
		6, 事務費	5,000	3,125	−1,875	62.5%	用紙、切手、振込手数料
	雑費		1,000	0	−1,000	0.0%	
	予備費		1,000	0	−1,000	0.0%	
	当期支出合計		2,248,000	2,421,455	173,455	107.7%	
	当期収支差額		−367,000	−783,975	−416,975	−	
	次期繰越金		1,997,139	1,580,164	−416,975	−	

上記，平成30(2018)年度収支決算は慎重な監査の結果，相違ないものと認めます　平成31(2019)年3月31日　　片山　直　　大金　誠

2019年度日本歯科色彩学会予算

（2019年4月1日～2020年3月31日）

	項　目		2018年度予算	2018年度決算	2019年度予算	増減	増減率（前年度比）	備　考
収　入	会費		1,330,000	1,295,000	1,700,000	370,000	127.8	
		入会金	20,000	50,000	50,000	30,000	250.0	5000円×10名
		本年度会費	960,000	885,000	1,200,000	240,000	125.0	10,000円×120名
		過年度会費	170,000	210,000	300,000	130,000	176.5	10,000円×延べ30名
		賛助会費	180,000	150,000	150,000	-30,000	83.3	30,000円×5社
	事業費		520,000	306,452	360,000	-160,000	69.2	
		論文掲載料	200,000	201,852	200,000	0	100.0	歯科の色彩　第25巻1号
		広告掲載料	70,000	75,600	70,000	0	100.0	歯科の色彩　第25巻1号
		見学会費	250,000	29,000	90,000	-160,000	36.0	参加費3,000円×30名
	雑費		31,000	36,028	31,000	0	100.0	
		著作・印税等	30,000	34,948	30,000	0	100.0	
		雑収入	1,000	1,080	1,000	0	100.0	
	当期収入合計		1,881,000	1,637,480	2,091,000	210,000	111.2	年会費納入率の大幅なアップ狙い
	繰越金		2,364,139	2,364,139	1,580,164	-783,975	66.8	2018年度の赤字決算で繰越金ダウン
	収入合計		4,245,139	4,001,619	3,671,164	-573,975	86.5	
支　出	事業費		1,611,000	1,748,929	1,440,000	-171,000	89.4	
		学術大会運営費	500,000	500,000	500,000	0	100.0	第27回学術大会（阪 大会長）補助金
		学会誌	700,000	771,579	600,000	-100,000	85.7	歯科の色彩　第25巻1号
		ニュースレター	40,000	39,096	40,000	0	100.0	ニュースレター64、65号
		調査研究費	1,000	0	―――			
		ホームページ管理費	170,000	170,864	150,000	-20,000	88.2	
		見学会費	200,000	267,390	150,000	-50,000	75.0	本年度から講習会は学術大会に含める
	運営管理費		635,000	672,526	633,000	-2,000	99.7	
		会議費	80,000	61,320	60,000	-20,000	75.0	常任理事会会場費、飲料代等
		交通費	320,000	246,200	250,000	-70,000	78.1	常任理事会等
		渉外費	90,000	99,464	90,000	0	100.0	日本歯科系学会協議会年会費
		通信連絡費	60,000	182,417	150,000	90,000	250.0	学会誌等郵送代
		事務委託費	80,000	80,000	80,000	0	100.0	事務局諸経費
		事務費	5,000	3,125	3,000	-2,000	60.0	切手代
	雑費		1,000	0	1,000	0	100.0	
	予備費		1,000	0	1,000	0	100.0	
	当期支出合計		2,248,000	2,421,455	2,075,000	-173,000	92.3	
	当期収支差額		-367,000	-783,975	16,000	383,000		可及的に赤字決算は回避
	次期繰越金		1,997,139	1,580,164	1,596,164	-400,975	79.9	

2018年度日本歯科色彩学会認定士委員会決算報告

（2018年4月1日～2019年3月31日）

	科目		2018年度予算	2018年度決算	増減	執行率	備考
	款	項					
歳入の部	1.登録料収入		120,000	0	-120,000	0%	
		1.申請料	30,000	0	-30,000	0%	10,000×0名
		2.登録料	90,000	0	-90,000	0%	30,000×0名
		3.更新料	0	0	0	0%	20,000×0名
	2.事業収入		30,000	0	-30,000	0%	
		1.講習会参加費	30,000	0	-30,000	0%	
		2.その他	0	0	0	0%	
	3.雑収入		0	30	30	0%	
		1.雑入	0	30	30	0%	銀行利息(8/20:15、2/18:15)
	当期収入合計		150,000	30	-149,970	0%	
	前期繰越金		3,473,799	3,473,799	0	100%	
	収入合計		3,623,799	3,473,829	-149,970	96%	

	科目		2018年度予算	2018年度決算	増減	執行率	備考
	款	項					
歳出の部	1.事業費		70,000	0	-70,000	0%	
		1.講習会開催費	50,000	0	-50,000	0%	
		2.出版物	20,000	0	-20,000	0%	
		3.その他	0	0	0	0%	
	2.管理費		60,000	0	-60,000	0%	
		1.会議費	10,000	0	-10,000	0%	
		2.交通費	10,000	0	-10,000	0%	
		3.費用弁償費	10,000	0	-10,000	0%	
		4.通信連絡費	10,000	0	-10,000	0%	
		5.事務費	20,000	0	-20,000	0%	
	3.雑費		10,000	0	-10,000	0%	
	4.予備費		10,000	0	-10,000	0%	
	当期支出合計		150,000	0	-150,000	0%	
	当期収支差額		0	30	30	-	
	次期繰越金		3,473,799	3,473,829	30	100%	

上記2018年度収支決算は慎重監査の結果、相違ないものと認めます　　2019年3月31日　　片山　直　　大金　誠

2019年度日本歯科色彩学会認定士委員会予算

（2019年4月1日～2020年3月31日）

	科目		2018年度予算	2019年度予算	増減	増減率	備考
	款	項					
歳入の部	1.登録料収入		120,000	120,000	0	0%	
		1.申請料	30,000	30,000	0	0%	10,000×3名
		2.登録料	90,000	90,000	0	0%	30,000×3名
		3.更新料	0	0	0	0%	20,000×0名（今年度、更新者なし）
	2.事業収入		30,000	0	-30,000	-100%	
		1.講習会参加費	30,000	0	-30,000	-100%	大会講習会と一本化されたため
		2.その他	0	0	0	0%	
	3.雑収入		0	0	0	0%	
		1.雑入	0	0	0	0%	
	当期収入合計		150,000	120,000	-30,000	-20%	
	前期繰越金		3,473,799	3,473,829	30	0%	
	収入合計		3,623,799	3,593,829	-29,970	-1%	

	科目		2018年度予算	2019年度予算	増減	増減率	備考
	款	項					
歳出の部	1.事業費		70,000	60,000	-10,000	-14%	
		1.講習会開催費	50,000	50,000	0	0%	講習会2の講演料
		2.出版物	20,000	10,000	-10,000	-50%	配布物、資料のための原稿作成費
		3.その他	0	0	0	0%	
	2.管理費		60,000	50,000	-10,000	-17%	
		1.会議費	10,000	10,000	0	0%	講習会、出版物等　事業の打ち合わせ会議
		2.交通費	10,000	10,000	0	0%	講習会、出版物等　事業の打ち合わせ会議
		3.費用弁償費	10,000	10,000	0	0%	講習会、出版物等　事業の打ち合わせ会議
		4.通信連絡費	10,000	10,000	0	0%	
		5.事務費	20,000	10,000	-10,000	-50%	
	3.雑費		10,000	5,000	-5,000	-50%	
	4.予備費		10,000	5,000	-5,000	-50%	
	当期支出合計		150,000	120,000	-30,000	-20%	
	当期収支差額		0	0	0	-	
	次期繰越金		3,473,799	3,473,829	30	0%	